

# バリアフリー映画上映会



© Minato Studio 2025

## 港に 灯が ともる

震災後の神戸。ゆっくりと流れる時間の中で、  
人と人が寄り添い、心に小さな灯がともる——。  
字幕・手話通訳・音声ガイド※に対応し、  
誰もが同じ時間を分かち合える“やさしい上映会”です。



© Minato Studio 2025

バリアフリー対応  
日本語字幕  
手話通訳・要約筆記  
車いす席  
スマートフォン音声ガイド  
アプリ「UDCast」対応※



© Minato Studio 2025

参加費 無料  
対象 どなたでも  
申込み 不要（当日先着順）  
定員 350名



© Minato Studio 2025

日時 令和8年2月7日(土)  
午後1時30分～午後4時(開場:午後1時)  
※上映時間119分  
場所 港区民ホール  
(港区土地区画整理記念・交流会館7階)

※当日は混雑が予想されます。公共交通機関でのご来場にご協力ください。

※UDCastアプリをご利用になる場合は、事前にスマートフォンにインストールしてご準備ください。

また、当日はイヤホンをご持参ください。詳しくは、裏面をご覧ください。

※配慮が必要な方で、お席などにご希望がある場合は、あらかじめご連絡ください。

### お問い合わせ

大阪市港区社会福祉協議会 TEL 06-6575-1212 FAX 06-6575-1025

主催 大阪市港区社会福祉協議会 港区障害者施設連絡会(ポートネット)

協力 港区障がい者地域自立支援協議会 港区社会福祉施設連絡会

## 障がいがあってもなくても、誰もが楽しめる映画会を開催したい

7年前、私たちがバリアフリー映画会の開催に込めた想いです。

私たちはさまざまな人に出会い、そして別れ、生きています。家族や友達、恋人同士でご覧になって生きることを考えてみてはいかがでしょうか。

## バリアフリー映画会とは？

視覚に障がいのある方のための「音声ガイド (UDCast)」や、聴覚に障がいのある方のための「日本語字幕」を付けて上映する映画会です。障がいの有無にかかわらず、どなたでもご覧いただけます。

7年ぶりのバリアフリー映画会、みんなで一緒に楽しみましょう！

## ストーリー

1995年の震災で多くの家屋が焼失し、一面焼け野原となった神戸・長田。かつてそこに暮らしていた在日コリアン家族の下に生まれた灯（富田望生）。在日の自覚は薄く、被災の記憶もない灯は、父（甲本雅裕）や母（麻生祐未）からこぼれる家族の歴史や震災当時の話が遠いものに感じられ、どこか孤独と苛立ちを募らせている。一方、父は家族との衝突が絶えず、家にはいつも冷たい空気が流れていた。ある日、親戚の集まりで起きた口論によって、気持ちが昂り「全部しんどい」と吐き出す灯。そして、姉・美悠（伊藤万理華）が持ち出した日本への帰化をめぐる、家族はさらに傾いていく——。なぜこの家族のもとに生まれてきたのか。家族とわたし、国籍とわたし。わたしはいったいどうしたいのだろう——。

## 【UDCastの使い方】

1. **アプリのダウンロード**  
QRコードから取得できます。
2. **アプリの起動**  
メニューから「音声ガイド」を選択します。
3. **作品を選び、音声データを保存**  
「ダウンロード」を押してください。
4. **「音声ガイドを聞く」を選択**  
スマホのマイクが映画の音を聞き取り  
音声ガイドが自動で作品と同期して流れます。
5. **イヤホンをつけて音声ガイドを再生**  
場面の説明やセリフの補足が聞こえます。



UDCast QRコード



Osaka Metro中央線「弁天町駅」下車 徒歩1分  
JR環状線「弁天町駅」下車 徒歩2分